

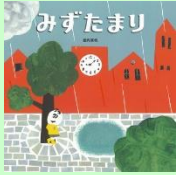


はにゅうしりつとしょかん H30-No.3

【みずたまり】




「みずたまり」
殿内 真帆/作 フレーベル館 Eミ



あめ雨がふってはうまれ、きえていくみずたまり。そこにはなにがうつっているのでしょうか？ふくちゃんのみずたまりにたずねます。「きょうはなにがみえた？」

「みずたまりぼっこ」
すずきはつえ/作 おくはら ゆめ絵 ひしかたチャイルド Eシ




こうえんでたったひとりえんそくをしていたかんちゃん。おおきなみずたまりをのぞきこむと、なかからくりつとしためがはなしかけてきて…。

「ぼくの水たまりバケツ」
エリサ クレヴェン/作・絵 徳間書店 Eボ



兄さんは、「そんなのあつめられないよ」っていうけど、ぼく、いろんなものを映す、みず水たまりをバケツにあつめるんだ…！

「ばけバケツ」
軽部 武宏/作 小峰書店 Eバ




ちゃぷちゃぷちゃぶん。バケツがやってきて…だっばーん、ころんでしまっ、みずたまりのできあがり。ヤマネコがやってきてひっかいた。「きゃっ」みずたまりからこえがした。

「水たまりの王子さま」
山崎 陽子/作 安井 淡絵 岩崎書店 Eミ



おいらはスリ。あるときろじうらまどべ時、路地裏の窓辺でおんなこであ女の子に出会った。おいらのことを、絵本の「あわせの王子さま」にそっくりだっというんだ…。

「みずたまり」
森山 京/さく 松成 真理子/絵 偕成社 Eミ



日常的ふとしたきっかけで、じぶんでない、ほかの誰かの気持ちを考えられるようになっていく、子どもの心の成長をえがきます。


【あめ】

「ぼく、あめふりお」
大森 裕子/作 教育画劇 Eボ



てるてるぼうずなのに、なまえが、あめふりお。いつもまわりに雨がふっているから、そうよばれているけど、ふりおは、なんだかふまんげです。

「ぴっちゃんぽっちゃん」
Accototo/作・絵 大日本図書 Eピ




ぴっちゃん、ぽっちゃん、あめ雨のおと。雨のなか、おさんぽにでかけた、こねこのプチュ。あきさんも、ちようちよさんも、けむしさんも、みんなであまやどり。

「あめふりうります」
平田 昌広/文 野村 たかあき/絵 講談社 Eア




「ひが一しのはたけに雨さんさん」そういらと、かおをごしごし。なにをするのもめんどうくさりのぐうたらねこ、ねこきちがなにやらおかしなしようばいをはじめました。

「あめこんこん」
松谷 みよ子/文 武田 美徳/絵 講談社 Eチ




モモチちゃんは、新しくか買ってもらったまっ赤な傘と長靴をはやく使ってみたくてお庭であめ雨ふりごっこをすることにしました。

「ぽつんとととはあめのおと」
戸田 和代/作 おかだちあき/絵 PHP 研究所 Eボ




ぽつん、とととと、あめ雨がふっています。あーちゃんがつまらないうとすねていると、外から変な声がきこえてきました…。

「あめがふるふる」
田島 征三/作 フレーベル館 Eア




あめの日、ネくんとキフちゃんがおるすばんしています。ふたりが、そとをながめっていると、フキのはっぱのかさをさしたカエルさんがやってきました。

「おたまさん」
軽部 武宏/作 長崎出版 Eオ



あめ雨がふって、おたまさんのせなかに、おおきな池ができました。いけ池には、いろんないきものがすんでいます。

「雨のにおい星の声」
赤座 憲久/文 鈴木 義治/絵 小峰書店 Eア



運動場に雨がふると、土のにおいがするというマシオ。マキオは、星はネコのなき声みたいな気がすると表現します。